

「憲法改正／国民投票」のルール改善（国民投票法の改正）を 考える会議

と き：10月24日（月）14時15分～17時（開場は14時）

ところ：参議院議員会館 1階102号室

第1部：意見交換の材料となる5人の考え [14時15分～15時00分]

- 井上達夫**（法哲学者。東京大学大学院教授。『憲法の涙ーリベラルのことは嫌いでも、リベラリズムは嫌いにならないでください2』の著者）
- 今井 一**（ジャーナリスト。現行の国民投票法の審議・制定時、衆参両院の憲法調査特別委員会の参考人、公述人を務める）
- 田島泰彦**（法学者。上智大学文学部新聞学科教授。報道の自由、メディア規制、情報公開に関する著書多数）
- 本間 龍**（作家。「原発プロパガンダ」「原発広告と地方紙」「原発広告」などの著者。メディアコントロールについて研究）
- 宮本正樹**（映画監督。脚本家。公開中の映画『第9条』は、12人の若者が「維持・破棄」をめぐる真剣に議論する姿を描いている）

第2部：意見交換 [15時00分～16時30分]

第1部での5人の発言を材料に、参加者全員で自由な意見交換をします。

※16時半以降は、今後の活動について意見交換し、次の集まりの日を決めて終了。

.....

参加希望者は10月21日までに下記あてに申し込んで下さい。

info.ref.jp@gmail.com / FAX06-6751-7345

「入館のためのタグの受け渡し」は、午後1時45分～2時の間の15分で行います。参加申し込みをされた方は、参院議員会館1階で身体・手荷物検査を終えた後、同じく1階東側のエントランスにお越し下さい。そこに「憲法改正／国民投票」のルール改善（国民投票法の改正）を考える会議と記したボードを持っているスタッフがいますのでお名前を言ってその人から入館タグを受け取ってください。

※2時以降に来られた方にはお渡しできませんので、ご注意ください。

※資料代として500円徴収します（上記の発言者、報道者からも。参加者全員がフラットな関係で）。